

ケミカルのラベルデザイン、続々とリニューアル!!

現デザインの在庫終了後、順次新デザインとなります。(写真左:現(旧)デザイン/写真右:新デザイン)



【キーパーファイナル1】
容量:420ml 変更済



【ホワイトロン】
容量:480ml 切替時期:11月下旬



【キーパーベースアップ2】
容量:300ml 切替時期:11月上旬



【キーパービューアップ4】
容量:420ml 切替時期:12月



【キーパーRA-300】
容量:4kg 切替時期:12月上旬



【ダイヤモンドキーパー】
容量:50ml 変更済



【ガラスフlossキーパー】
容量:25ml 変更済



【ハイブリッドレジン】
容量:170ml 切替時期:12月



【クリスタルレジン】
容量:210ml 切替時期:2011年1月



【燦白ONE】
容量:3kg 切替時期:10月下旬



【アイアンイーター4L】
容量:4L 切替時期:10月下旬



【アイアンイーター500ml】
容量:500ml 切替時期:2011年2月



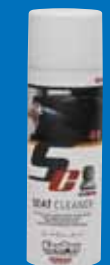
【インセクトリムーバー200ml】
容量:500ml 切替時期:2011年3月



【インセクトリムーバー4L】
容量:4L 切替時期:11月上旬



【ロックビットクリーナー】
容量:300ml 切替時期:2011年3月



【シートクリーナー】
容量:350ml 切替時期:11月下旬



【ホイールクリーナー】
容量:350ml 切替時期:12月



【タールリムーバー】
容量:300ml 切替時期:2011年3月



「純水が良いのは分かっているが、コストが…」の要望に応えるために 処理能力別にニーズに合わせた3種類の「快洗ROII」が新登場



※ラベルデザインは変更になります。

あらゆる条件化での能力を備えた「快洗RO」

3年前に発売した「快洗RO」は、純度の高い「純水」を常温(15℃)で1時間あたり150L生成する能力を持っています(オプションで300L/時に追加可)。しかし逆浸透圧式の純水生成機「快洗RO」は寒冷時(1℃~5℃)には60%の能力に低下しますので、たとえば最繁忙期12月に90L/時になることがあるわけです。この供給量は「連続して1時間に6~9台」の手洗い洗車とキーパーコーティングが交互に施工し続けた時の純水消費量に当たり、「快洗RO」はあらゆる条件下で十分な供給を確保できることを想定した能力です。

想定条件を下げた能力でコストダウンをし、貯水タンク増量でカバーしたのが「快洗ROII」

しかし「そこまでの能力は必要ではなく、それよりもっとコストを軽減した純水機が欲しい」とのご要望が寄せられていました。そこで繁忙期で需要が多いが、温度が低く性能的にダウンする12月での最大能力を「何時間も連続して1時間に2~3台手洗い洗車とキーパーコーティング」と設定すると、必要な寒冷時での能力は30~40L/時であり、常温での能力を60L/時であるとなりました。新しく開発した「快洗ROII」は、ここまで能力を制限しても、純水の貯水タンクの

容量を52Lにまで拡大することによって、実際には短時間なら「1時間に6台~9台の手洗い洗車、キーパーコーティング」の作業に対応できます。想定条件から「連続して」をはずすことによって能力を制限し、コストダウンを図りました。

純水生成機の心臓部「純水生成モジュール」を追加で能力を上げられる

「快洗ROII」は、純水生成機の心臓部である逆浸透膜の入った「純水生成モジュール」を1本から3本まで任意に選択して取りつけることができます。1本にすれば「60L/時」であり、2本にすれば「120L/時」、3本にすれば「180L/時」となって、今までの「快洗RO」を超える能力にまで上げることができます。

まず60L・1本モジュールの「快洗ROII(60)」でスタート

快洗ROは、あらゆる厳しい条件を想定し、能力を設定しましたが、新しい「快洗ROII」はその条件を日常的に考えられるレベルに下げてコストダウンを図ったものです。まず、純水モジュール1本の「快洗ROII(60)」でスタートし、使用状況を確認した上で、どうしても能力が不足するようであれば純水モジュールを増設することによって能力アップを図る選択の自由度を持たせました。

「純水」は洗車・コーティングの作業を効率化します

手洗い洗車の拭上げ前や、キーパーコーティングの作業前に「純水をひと掛け」すると、作業中に水が乾いても、水道水のようにミネラルのシミが吹き出さず、水を掛け直したり、作業をやり直したりする必要がありません。実質的に作業がずいぶん効率化します。

日影のない場所での作業が、楽になり速くなります

作業を行う場所に屋根がなく日影が確保できない場合、特に夏季には、作業中にすぐに水が乾いてしまいがちですが、純水をひと掛けすると、乾燥してもまったく作業の遅滞になりません。

「純水」は洗車・コーティングの品質を安定させ、品質を確実に上げます

水道水のミネラルは作業途中で水が乾いた時などに微細かつ硬いミネラル粒子となって洗車やコーティングの品質を下げる可能性があります。作業の途中で純水を使用することでその危険を防止します。

同時に、純水独特の透明な仕上がりを実現し、洗車・コーティングの品質を確実に上げることができます。KePer LABO快洗隊では、ほぼ全店が純水を使用しています。

	モジュール単体能力(常温)	純水貯水タンク容量	モジュールの本数	常温時			寒冷時(常温時の60%へ能力ダウン)			価格(税抜)
				合計能力	連続可能作業(洗車 or キーパー)	短時間可能作業(洗車 or キーパー) 一時的に貯水タンクを使い切る	寒冷時能力	連続可能作業(洗車 or キーパー)	短時間可能作業(洗車 or キーパー) 一時的に貯水タンクを使い切る	
快洗RO(150)	150L/時	1	36L	150L/時	10~15台	12~18台	90L/時	6~9台	8~11台	88万円
快洗ROII(60)	60L/時	1	52L	60L/時	4~6台	7~11台	36L/時	2~3台	6~9台	58万円
快洗ROII(120)	60L/時	2	52L	120L/時	8~12台	11~25台	72L/時	5~7台	8~12台	78万円
快洗ROII(180)	60L/時	3	52L	180L/時	12~18台	15~23台	108L/時	9~11台	11~15台	98万円